

令和元年度「進路の状況」について 進路指導部

今年度の概況

求人開始直後は来校での求人が昨年度より多かったですが8月末以降は昨年度より減ってきています。企業としては優秀な生徒を採用したいが経済状況が不安定なこともあり昨年度より採用が慎重となっています。求人職種として職場の若返り、技術の継承等での保全系の職種が今年度も増加しました。

また卒業生の活躍があり本校生を採用し、現場を任せられる人材を育成したいと話をする企業も多かったです。

求人数と就職・進学割合



R1 3年生進路状況

項目	科	機械	電気	電子	情報技術	合計
(1) 就職者数		66	33	34	32	165
		82.5%	86.8%	89.5%	84.2%	85.1%
	県内	45	27	28	24	124
	県外	18	4	4	7	33
	公務員	3	0	2	1	6
縁故	0	0	0	0	0	
自営	0	2	0	0	2	
(2) 進学者数		14	5	4	5	28
		17.5%	13.2%	10.5%	13.2%	14.4%
	4年制大学	7	4	0	3	14
	短期大学	0	0	0	0	0
	職業訓練校	1	1	1	0	3
専門学校等	6	0	3	2	11	
(3) その他		0	0	0	1	1
(4) 卒業生徒数		80	38	38	38	194

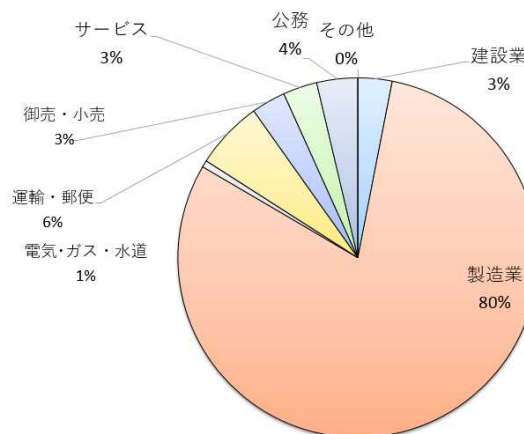
(1) 就職

卒業生194人のうち、民間就職希望者157名が内定し、公務員にも6名が合格し165名が仕事に就くことになりました。右側図は就職先産業分類別人数のグラフです。就職者の約80%が製造業に就きます。

今年度も早々と全員内定しており、地元の企業に就職を希望する生徒が増えたこともあり地域から本校生への信頼が引き続き維持されているものと感じます。

入学時から卒業後の進路は就職と決めている生徒も多く、今年度の就職率は約85%となり高い就職率となっています。

R1年度 就職先産業分類



(2) 進学

大学進学者が14名、専門学校等への進学者が11名と約15%の生徒が進学をしています。進学先は工学系が過半数ですが、将来はスポーツの指導者を目指したり、自分自身が競技を続けるための進学も目立ちます。ここ数年の傾向として、学費に関する相談や悩みが増えています。